第十二回熊本大学医学部医学科医学教 第六十五回九州歯科医学大会 第十三回日本分子脳神経外科学会 育ワークショップ 九月二十日~二十一日 十月十三日~十四 八月十二日

本九祭・医学展

H

5 兀 \mathbb{H}

 \mathbb{H}

(薬学展 十一月三

ンポジウム 第二十八回熊本医学・生物科学国際シ 一月三日 了 四

第六十五回日本薬理学会西南部会 十一月十五日~十六日

会(一次助成) 第五十六回日本糖尿病学会年次学術集 十一月二十三日

五月十六日~十八日 (平成二十五年)

医育振興会医学研究助成を行う 平成二十四年度 (第十七回) 肥後

時から、 東由喜雄教授 (臨床系)、 の七名です。 それぞれの所属機関から推薦を受けた次 において行われました。 究部からは赤池孝章教授(基礎系)、安 (薬学系)、白石順二教授 平成二十四年度の助成選考委員会は センター系からは熊本大学エイズ学 平成二十四年十月二日(火)午後六 肥後医育振興会助成選考委員会 熊本大学大学院生命科学研 (保健学系) 丸山徹教授

厳正な選考が行われました。 生会熊本病院の中尾浩一副院長で構成さ 本医療センター院長、関連病院からは済 師会から河野文夫理事 互選で赤池孝章教授が委員長となっ 応募者ひとり一人について公正且つ (国立病院機構熊

ました。 理事長に推薦し、 者として選考されました。その後、神原 であり、その中から次の四名が授与候補 体力づくりセンターから一名の計十二名 ら一名、 大学院生命科学研究部から六名、同医学 れた後、 部附属病院から四名、同発生学研究所か 医学研究助成金の応募者は、熊本大学 それぞれに十五万円が贈呈され 医療法人社団寿量会熊本健康· 理事会において承認さ

· 荒木 熊本大学大学院医学教育部 智 (三十二才)

による心臓の創傷治癒制御機構の解 サーチュインファミリー Sirt7—

渡邊丈久 (三十六才) 熊本大学医学部附属病院

カニズムの解析」 Tβ遺伝子発現の時空間的な制御メ 「肝炎・肝細胞癌誘導因子であるL

上野太郎 (三十二才)

馬。

性幹細胞分野 ゲノムワイドな睡眠関連遺伝子の探 「時期特異的RNAi法を用いた、

医療法人社団寿量会 熊本健康・体力づ

研究センターの岡田誠治教授、

熊本県医

くりセンター キャピタルに及ぼす影響について」 病患者の運動継続因子とソーシャル 「医療と運動資源の連携が生活習慣 健康科学トレーナー

平成二十四年度 (第十六回) 肥後医育

から推薦を受けた五名の応募があり、そ して、 れました。 の中から次の四名が授与候補者として選 者の選考も、 平成二十四年度

循環器内科学分野 博士課程 四

内科

医員

消化器

張り

田力

振興会医学研究助成金授与候補者の選考

平成二十四年度(第十七回)肥後医育

熊本大学発生医学研究所 研究員 多能

· 山[‡] 下シ索 亮 (三十三才)

振興会外国人留学生奨学助成を行う

医育振興会外国人留学生奨学金授与候補 医学・医療国際交流支援事業の一つと 本年度は熊本大学大学院医学教育部長 同日、同委員会により行わ (第十六回) 肥後

万円が贈呈されました。 において承認された後、 考されました。 その後、 神原理事長に推薦し、 それぞれに十五 理事会

カン

修士課程一年 熊本大学大学院医学教育部 (知覚生理学分野 争 国

研究生(中 熊本大学大学院医学教育部 明然等分野)

郭 (生体機能薬理学分野) 建エイ 国

博士課程二年

熊本大学大学院医学教育部

博士課程二年(中

国

(神経内科学分野

熊本大学大学院医学教育部

報 平成二 学金の授与式を開催 助成金・外国人留学生奨 一十四年度医学研究

されました。また、それぞれの受賞者の 究助成金四名・外国人留学生奨学金四名 れました。 代表者から謝辞及び今後の決意が述べら おいて行われ、 五時半より医学教育図書棟四階ゼミ室に 会医学研究助成金及び第十六回肥後医育 が、平成二十四年十一月八日(木)午後 振興会外国人留学生奨学金の合同授与式 各件十五万円が受賞者ひとり一人に手渡 平成二十四年度第十七回肥後医育振興 神原武理事長から医学研